



# 日本でいちばん女性が いきいきする会社

## 多様性ある企業の利点

著者の一人は「日本でいちばん大切にしたい会社」でも良く知られる中小企業研究の第一人者だが、本書は「女性の活躍」に主眼を置き、企業の好事例を挙げつつなぜ「女性の働きやすさ」を追求する必要があるかを説いている。

採り上げられている企業の多くは、最近の「女性活躍推進法」制定などよりずっと前から、様々な事情で女性を活用する必要に迫られ制度改革に着手している。それにより企業風土が変わり、事業の新規開拓や個々の社員のスキルアップが促進され、付加価値や生産性の高い企業に生まれ変わっていることが分かる。

女性のみならず、会社が多様性のある人材を個人として尊重し、能力を発揮しやすい職場を整備することがいかにメリットが大きいかを理解することもできよう。

(坂本光司・藤井正隆・坂本洋介著、潮出版社刊、☎03-3230-0741、1500円＋税)

## デジタルまゆ知識 正しい防災関連情報を手に入れよう

大地震や大雨、台風などの自然災害で自分が被災者になったときや、家族や大切な人が巻き込まれた可能性があるときは、確実な情報が何より大切です。

スマホには普段から、防災関連のアプリを入れておくことをおすすめします。アプリによっては、地方自治体からの緊急情報を通知とメールで教えてくれることもあります。お住まいの周辺を地域登録すると防犯情報も不定期に配信されるので、お子さんの通学路近くの安全もチェックできます。

また、「災害時伝言板」は被災者が自分の安否を登録すると全国どこからでも確認ができるシステムです。災害時伝言板の活用については体験利用ができるので、日ごろから使い方を確認しておきましょう。

## 編 集 後 記

夏の甲子園では、仙台育英が下関国際を8－1で下し、深紅の大優勝旗が遂に白河の関を越えることができました。東北勢としては10回目の決勝でようやく手にした栄冠で、東北に自信と誇りをもたらしてくれたと感じています。

SNS上ではこの決勝戦を150余年前に奥羽列藩同盟と長州などを中心とした新政府軍との戦いになぞらえて“令和の戊辰戦争”と表現する向きもあったようです。それはさておき、小生などは準決勝で惜しくも散った聖光学院に優勝旗を持って来てほしかったと残念に思うところでもあります。

ところで、新型コロナの第7波が猛威を振るい、いわき市での感染者数が県内トップという日が続いています。うちの職場でも陽性者が出たというような話があちこちで聞かれます。医療崩壊を防ぐため、新型コロナの感染症法上の取り扱いについて2類（指定感染症）から5類への変更が検討され、更に感染者の全数把握を見直す動きも起きています。それぞれ難しい課題もあるかと思いますが、早期の決断・実行が求められていると感じています。

(専務理事 鈴木 寿信)